

2020年農林業センサス調査結果（主な指標）【兵庫県】

1 総農家数・農業経営体

(1) 総農家数

兵庫県の総農家数は67,124戸となり、5年前と比べ17.6%減少した（全国は18.9%減少）。このうち、販売農家は37,025戸、自給的農家は30,099戸で、それぞれ20.9%、13.0%減少した。

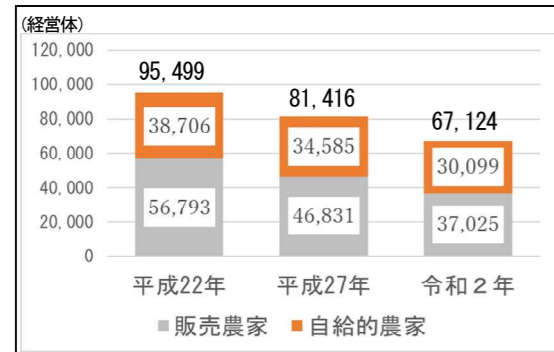


図1 農家数の内訳【兵庫県】

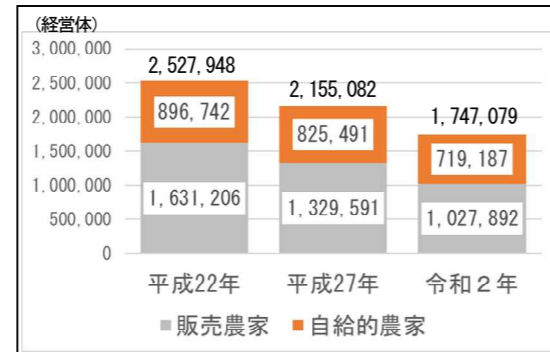


図2 農家数の内訳【全国】

(2) 農業経営体数

兵庫県の農業経営体のうち、個人経営体は37,120経営体で、5年前に比べ20.9%減少した（全国は、22.6%減少）。一方、団体経営体は1,182経営体で19.6%増加した（全国は、2.8%増加）。

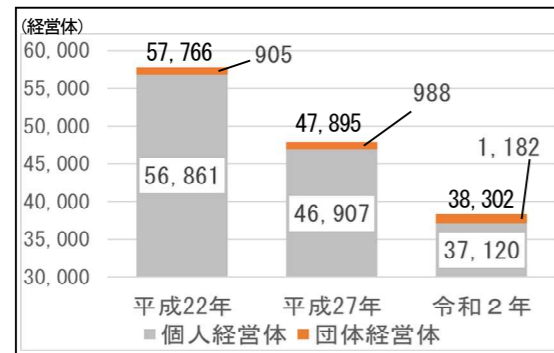


図3 農業経営体数【兵庫県】

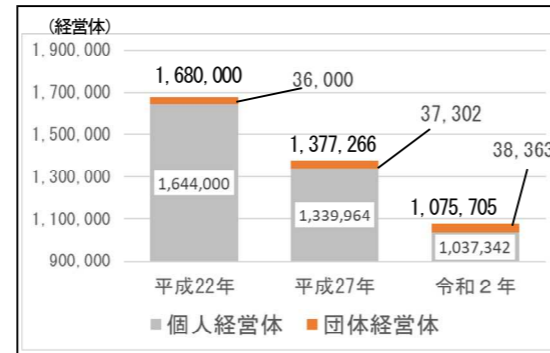


図4 農業経営体数【全国】

注) 農家：経営農地面積が10a以上又は10a未満でも過去一年の農産物販売額が15万円以上あった世帯。
農業経営体：事業として経営農地面積が30a以上、もしくは、農作物の作付面積または栽培面積、家畜の飼養頭羽数などを一定の基準以上行う者。

4 経営耕地面積・集積割合

(1) 経営耕地面積

農業経営体の経営耕地面積は46,829haとなり、5年前に比べ8.5%減少した。また、経営耕地面積のうち借入耕地面積は、20,421haとなり、5年前と比べ10.4%の増加となった。なお、1経営体当たりの経営耕地面積は1.2haで、9.1%増加した。

表1 1農業経営体当たりの経営耕地面積(ha)

区分	全国	都府県	兵庫県
平成22	2.2	1.6	0.9
平成27	2.5	1.8	1.1
令和2	3.1	2.2	1.2

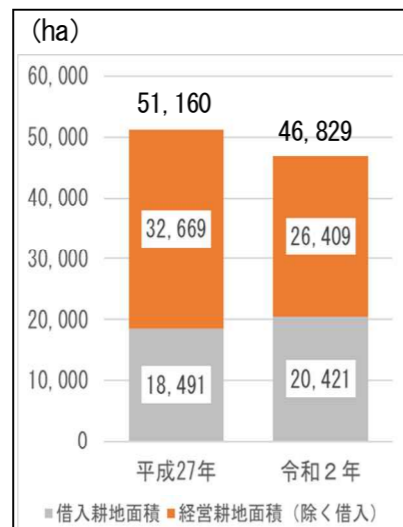


図9 農業経営体の経営耕地面積の状況【兵庫県】

(2) 経営耕地面積の集積割合

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合について、5ha以上の農業経営体の占める割合が、この5年で23.2%から31.4%に増加（全国は57.9%が65.6%に増加）した。

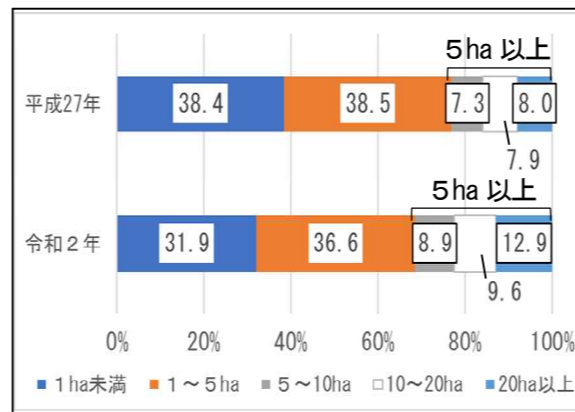


図10 経営耕地面積規模別経営耕地面積【兵庫県】

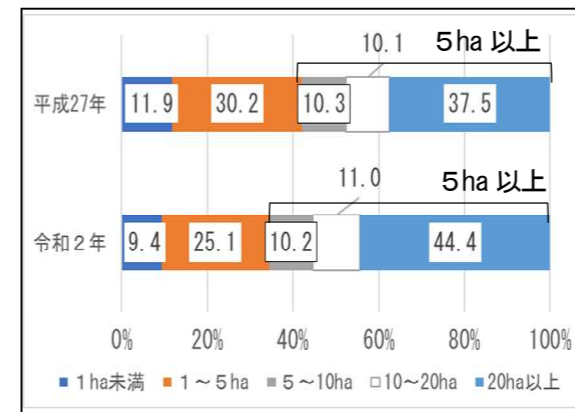


図11 経営耕地面積規模別経営耕地面積【全国】

注) 経営耕地面積：農林業経営体が経営する耕地の面積をいい、経営体が所有している耕地のうち貸し付けている耕地と耕作放棄地を除いたものに、借りている耕地を加えたもの。

2 主副業別農業経営体数（個人経営体）

農業経営体のうち個人経営体を主副業別にみると、主業経営体は、3,739経営体で、5年前に比べ17.4%減少（全国は21.5%減少）、準主業経営体は、5,241経営体で34.3%減少（全国は44.5%減少）、副業的経営体は、28,140経営体で18.2%の減少となった（全国は14.7%減少）。

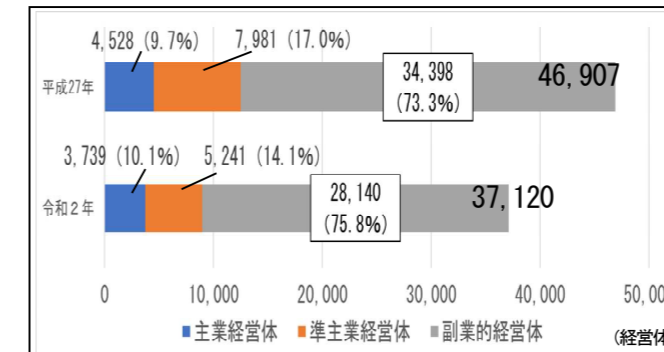


図5 主副業別農業経営体数（個人経営体）【兵庫県】

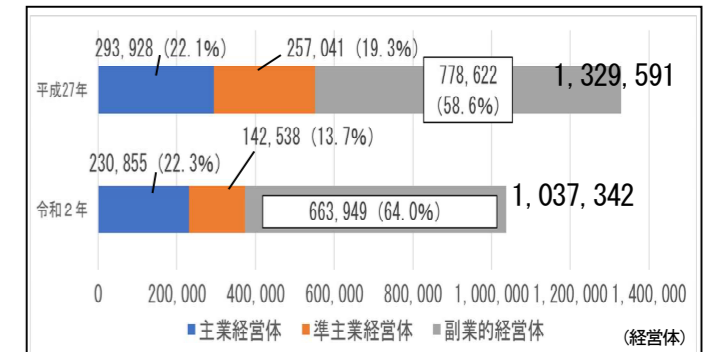


図6 主副業別農業経営体数（個人経営体）【全国】

注) 主業農家：農業所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
準主業農家：農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
副業的農家：65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家

3 基幹的農業従事者数（個人経営体）

基幹的農業従事者の内、65歳以上が占める割合は、この5年で、74.0%から79.6%に増加（全国は64.6%から69.6%に増加）し、平均年齢は70.6歳となった（全国は67.8歳）。

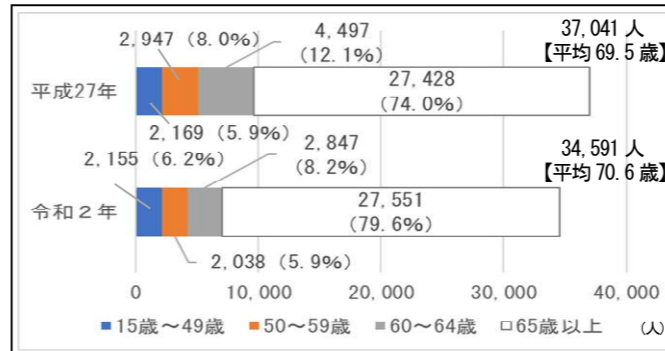


図7 基幹的農業従事者数（個人経営体）【兵庫県】

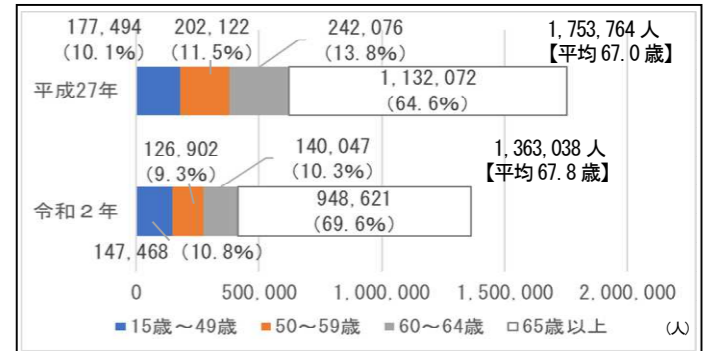


図8 基幹的農業従事者数（個人経営体）【全国】

注) 基幹的農業従事者：農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、調査期日前の1年間のふだんの主な状態が「自営農業に従事している者」のことをいう。

5 出荷先

農産物販売金額1位の出荷先別に農業経営体数の構成割合は、農協が65.7%、次いで消費者に直接販売が11.3%、農協以外の集出荷団体が8.1%となった。

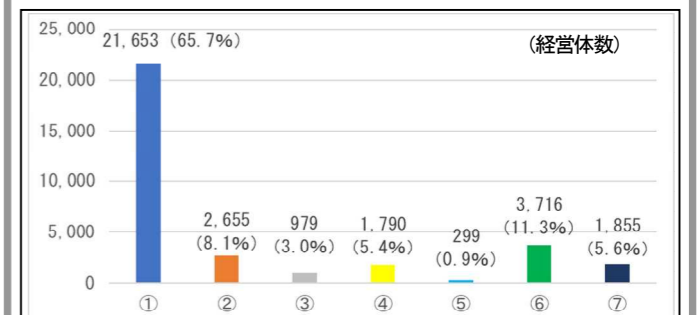


図12 農産物販売金額1位の出荷先別にみた農業経営体数【兵庫県】

注) 農産物販売金額：肥料代・農薬代・飼料代などの諸経費を差し引く前の売り上げ金額

6 データを活用した農業・農業生産関連事業

データを活用した農業を行っている経営体 データの活用方法の内訳

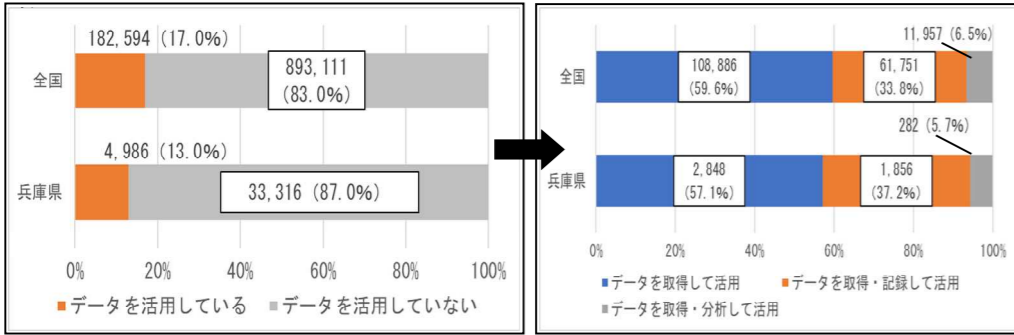


図13 データを活用した農業を行っている経営体数

農業生産関連事業の実施状況

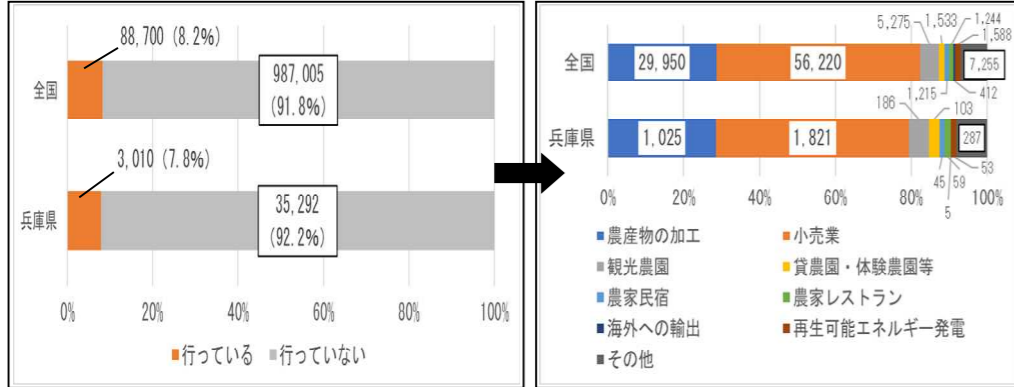


図14 農業生産関連事業を行っている経営体数

(1) データを活用した農業

兵庫県では、38,302ある農業経営体の内、全体の13.0%にあたる4,986経営体がデータを活用した農業を行っている（全国は17.0%）。

内訳としては、データを取得して活用が57.1%（全国は59.6%）、取得・記録して活用が37.2%（全国は33.8%）、取得・分析して活用が5.7%（全国は6.5%）となっている。

(2) 農業生産関連事業

兵庫県では、38,302ある農業経営体の内、全体の7.8%にあたる3,010経営体が農業生産関連事業を行っている（全国は8.2%）。

内訳としては、小売業が60.5%（全国は63.4%）、農産物の加工が34.1%（全国は33.8%）、次いで観光農園が6.2%（全国は5.9%）となっている。

注）農業生産関連事業：自己農産物を利用した加工・直売や観光窓口等農業経営に付帯する事業

8 林業経営体・素材生産量

(1) 林業経営体数

林業経営体は、この5年で、1,648経営体から514経営体となり、68.8%減少した（全国は61.0%減少）。

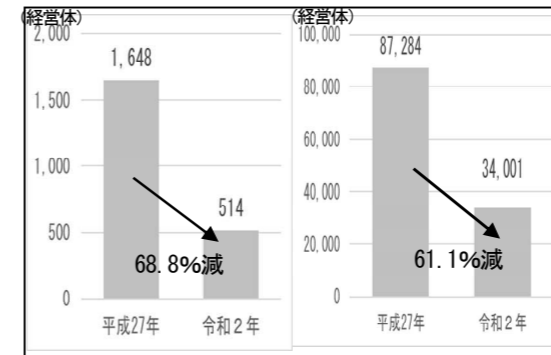


図19 林業の推移【左：兵庫県・右：全国】

注）林業経営体：林地の所有、借入などにより森林施業を行う権原を有する、世帯、会社など（保有山林面積3ha以上等）
素材生産：用材材の立ち木を切倒して用途に合った長さの丸太を生産すること

(2) 素材生産量

素材生産量は、402,424 m³となり、5年前に比べ21.2%増加した（全国は、2.6%増加）。

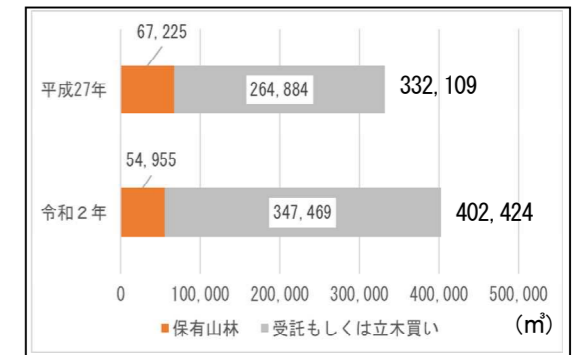


図20 素材生産量の推移【兵庫県】

(3) 林業経営体の保有山林面積

保有山林面積規模別に林業経営体の構成割合をみると、20ha以上の階層の構成割合44.6%となり、増加している（全国は20ha以上の階層の構成割合は32.4%）。

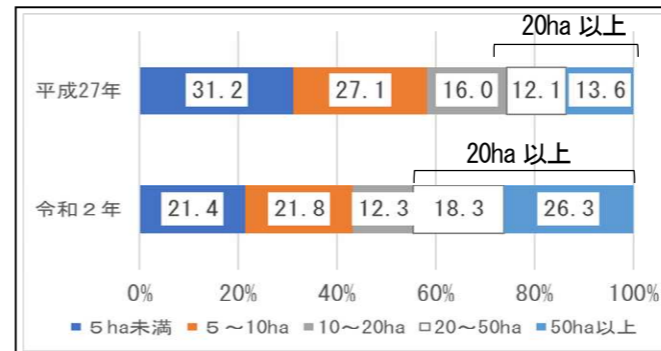


図21 保有山林面積規模別林業経営体数の構成割合【兵庫県】

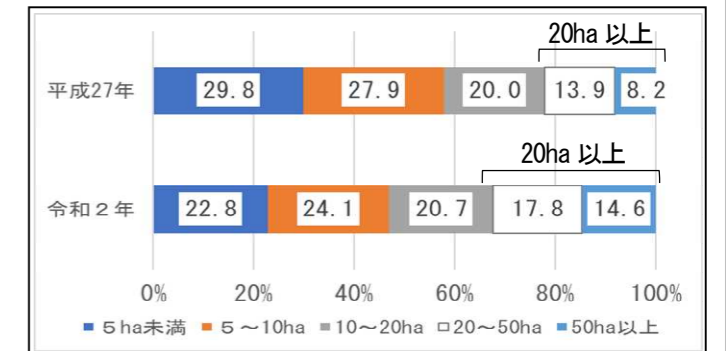


図22 保有山林面積規模別林業経営体数の構成割合【全国】

7 飼養経営体数と飼養頭数（畜産）

(1) 飼養経営体数

乳用牛の経営体数は、238経営体となり5年前に比べ41.5%減少（全国は24.2%減少）、肉用牛の経営体数は1,043経営体となり、21.1%減少（全国は21.4%減少）となった。

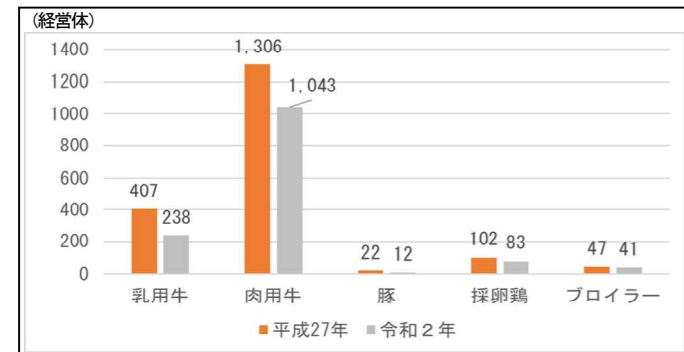


図15 飼養経営体数【兵庫県】

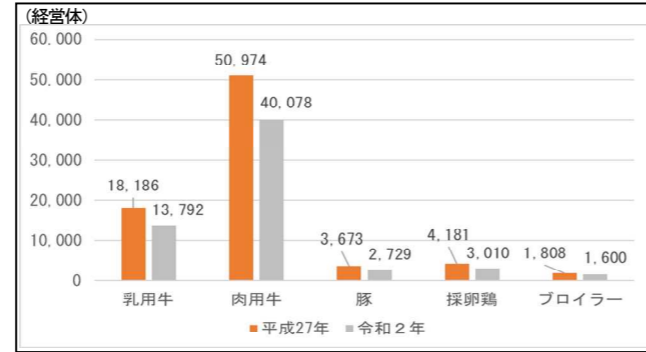


図16 飼養経営体数【全国】

(2) 飼養頭数

乳用牛の飼養頭数は、12,204頭となり、5年前に比べ22.6%減少（全国は5.8%減少）、肉用牛の飼養頭数は、60,229頭となり、32.4%増加（全国は1.4%減少）。

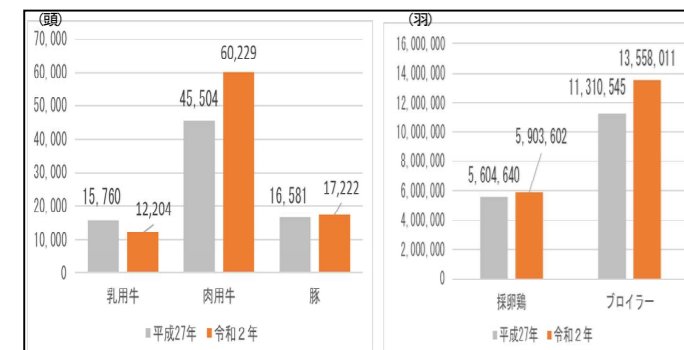


図17 飼養頭数【兵庫県】

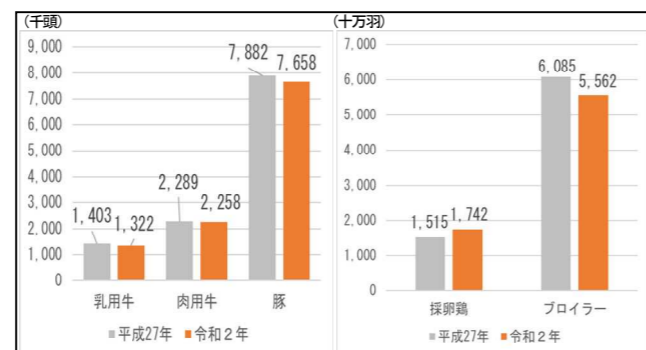


図18 飼養頭数【全国】

9 漁業経営体数・漁業就業者数（2018年漁業センサス）

(1) 漁業経営体数

経営体数は、平成30年に2,712経営体となり、5年間で14.4%減少した（全国は、16.3%減）。

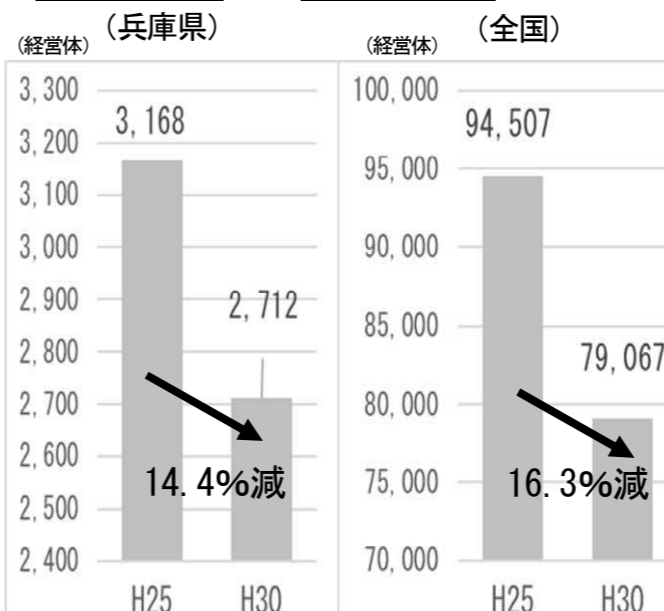


図23 漁業経営体数

(2) 漁業就業者数

経営体数は、平成30年に4,840人となり、5年間で9.3%減少した（全国は、16.2%減）。

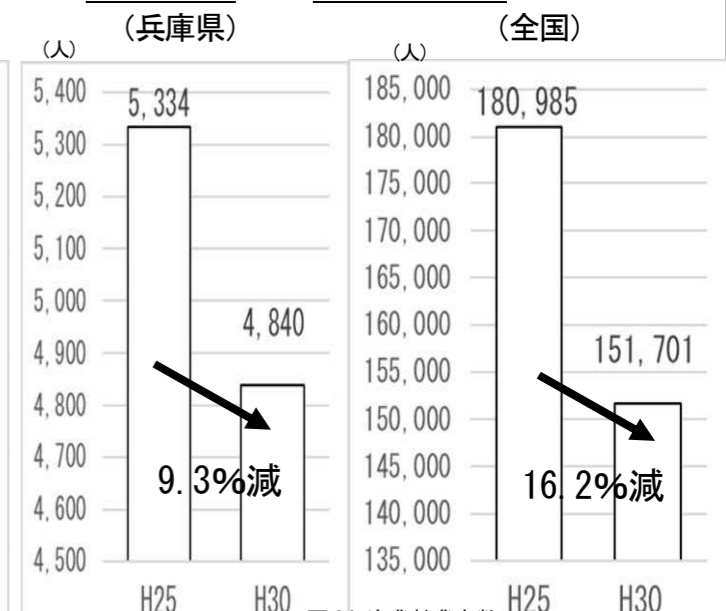


図24 漁業就業者数

注）漁業経営体：過去1年間に利潤または生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として自営漁業を営んだ世帯又は事業所